学校番号	414

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典講読	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　古典探究」　（数研出版株式会社）						
副教材等	「新しい古典の学習２in１スタイル　学ぶぞ　古文と漢文」（尚文出版株式会社） 「学ぶぞ　古文と漢文　基本練習ノート」（尚文出版株式会社） 「練成古典」（尚文出版株式会社） 「新版　理解を深める　核心古文単語 351」（尚文出版株式会社） 「徹底演習　新しい共通テスト国語対策問題集　［現代文＋古典］35」（株式会社桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本科目では、同時開講している「古典演習」に比してより多くの文章に触れ、それらを用いて読解の演習を積み重ねることで、古典世界へのより深い理解や、古典常識や文法等、古典に関する知識の体系的な習得を図る。また、作品の比べ読みや、それらを踏まえた話し合い活動など、単なる読解にとどまらない発展的な学習活動を行う。高等学校での学習の集大成として、なぜ今日において古典を学習せねばならないかという問いに対して、個々人が独自の意見をもち、今後の生涯に繋げていけるようにすることを最終的な到達目標とする。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「読むこと」の領域において，論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで古典に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	随筆 ［教材］ 『枕草子』「二月つごもりごろに」 (p.164～p.165)	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	記述の確認 定期考査 小テスト	記述の確認 発言の内容の確認	行動の確認と観察
	説話 ［教材］ 『十訓抄』「大江山」 (p.44～p.45)	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c：積極的に説話が示す教訓性について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	記述の確認 定期考査 小テスト	記述の確認 発言の内容の確認	行動の確認と観察
	日記文学 ［教材］ 『紫式部日記』「同僚女房評」 (p.188～p.189)	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：積極的に作者の心情をとらえ、学習の見通しをもって自分の考えを説明しようとしている。	記述の確認 定期考査 小テスト	記述の確認 発言の内容の確認	行動の確認と観察
二学期	歴史物語 ［教材］ 『大鏡』「三船の才」 (p.124～p.125)	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：積極的に登場人物の行動や語り手の心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	記述の確認 定期考査 小テスト	記述の確認 発言の内容の確認	行動の確認と観察
	評論 ［教材］ 『石上私淑言』 「もののあはれを知る」 (p.268～p.269)	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：粘り強く本文の内容を読み解き、学習課題に沿って筆者の主張を説明しようとしている。	記述の確認 定期考査 小テスト	記述の確認 発言の内容の確認	行動の確認と観察
	説話 ［教材］ 『唐物語』「王昭君」 (p.250～p.251)	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：積極的に編者の考えをとらえ、今までの学習を生かして説明しようとしている。	記述の確認 定期考査 小テスト	記述の確認 発言の内容の確認	行動の確認と観察
	説話 ［教材］ 『西京雑記』「王昭君」 (p.252～p.253)	a：古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 b[読]：古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：粘り強く『唐物語』と『西京雑記』の違いを抽出し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	記述の確認 定期考査 小テスト	記述の確認 発言の内容の確認	行動の確認と観察

	近世随筆 ［教材］ 『玉勝間』 「師の説になづまざること」 (p.276～p.278)	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：粘り強く本文の内容を読み解き、学習課題に沿って筆者の主張を説明しようとしている。	記述の確認 定期考査 小テスト	記述の確認 発言の内容の確認	行動の確認 と観察
三学期	歴史物語 ［教材］ 『大鏡』「最後の除目」 (p.242～p.244)	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：積極的に登場人物の行動や心情をとらえて内容を整理し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	記述の確認 小テスト	記述の確認 発言の内容の確認	行動の確認 と観察
	歴史物語 ［教材］ 『栄花物語』「兼通と兼家」 (p.245～p.247)	a：古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 b[読]：古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：粘り強く『大鏡』と『栄花物語』の違いを抽出し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	記述の確認 小テスト	記述の確認 発言の内容の確認	行動の確認 と観察

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　１０５　）時間